

第3学年国語科学習指導案

1 単元名 物語の感想をまとめ、6年生に伝えよう「ちいちゃんのかげおくり」

2 指導の考え方

子どもの実態

本学年の子どもたちは、「海をかつとばせ」「三年とうげ」の学習を通して、登場人物の様子や気持ちの変化を叙述をもとに読む学習をしてきている。これまでの学習では、中心文を読んで、登場人物の様子や気持ちを読み深めてきた。しかし、場面と場面をつないで、根拠をあげて、登場人物の気持ちを読み深める力はまだ十分に身に付いていない。

教材の特質

本教材は、戦争によって家族と離ればなれになったちいちゃんが、家族に会いたい気持ちを持ち続け、自分の命をなくしてしまった悲しい物語である。どの場面も時間の経過を表す言葉が初めに書かれており、行動を表す文が多いため、登場人物の気持ちの変化を想像するのに適している。本教材の特質を活かすことで、場面の移り変わりをとらえたり、感想をまとめたりすることができる。具体的には、以下の3点である。

- 繰り返しや似た言葉に着目させ、ちいちゃんの気持ちの変化を想像させることができる。
- 二つのかげおくりの違いを、場面を比べたりつないだりして読ませることができる。
- なぜ6の場面があるのかを考え、作者の伝えたいことを話し合い、自分の感想をもつことができる。

指導にあたって

指導にあたっては、読むことの楽しさや価値を実感させることができるように、以下のような授業づくりを行う。導入の段階では、これまでの平和学習を想起し、これから学習する物語が戦争があっていた頃に生きていた女の子の物語であることを伝え、パネルや写真、挿絵を見せることで時代背景をとらえさせる。

読みのめあてをつくる段階では、まず単元名「物語の感想をまとめよう」と題名を読み、「ちいちゃんのかげおくり」の「の」に着目させ、「ちいちゃんがしたかげおくり」のことだろうと予想させた上で冒頭を読ませ、読みのめあてを生み出させる。その後、単元の入り口として、これまでの学習や修学旅行で平和学習をした6年生に自分が書いた感想を聞いてもらうという学習のかまえをつくる。

読みのめあてに対する初めの考えをつくる段階では、読みのめあて①について、まず、時間の経過を表す言葉や場所を表す言葉、一行空きなどに着目させて場面を分け、場面ごとに書きまとめさせる。学習計画を立てる段階では、読みのめあて②について、「ちいちゃんのかげおくりがどんなかげおくりなのか」自分なりの考えを書きまとめさせる。そして子どもたちの「読みのめあてに対する初めの考え」を交流させることで、どんなかげおくりなのか整理し、家族を求めらちいちゃんのさびしさやつらさを、ちいちゃんの気持ちが分かる文から読み深めるようにする。

読み深めの段階では、中心文に着目させちいちゃんの様子や気持ちを読み深めさせる。その中で、繰り返しを読む、はずして読む、場面と場面をつないで読む読み方を身に付けさせるようにする。読みのまとめの段階では、読みのめあてに対する答えを書きまとめ、本単元で使った読み方を振り返る。また、どんな読み方をしたから、場面の様子や登場人物の気持ちを読み深めることができたのかを振り返らせる。

単元の出口では、心に残った場面を中心に感想をまとめさせ、6年生に聞いてもらい交流することができるようにする。

☆焦点化

- ちいちゃんの気持ちを中心に読む。
 - ・読みのめあて
 - ・学習計画
 - ・読み深め
- まとめ
 - ・「ちいちゃんへ」という書き出しを与える。

☆可視化

- 構造的な板書
 - ・中心文を大きく書き、そこに考えを線でつなぐ。
- 根拠を明らかにして、考えを整理しやすい学習プリントを準備する。
- 自分の考えを書く手順の提示をする。

☆共有化

- 学習プリントを活用した少人数(3人組)で話し合う。
- 全体交流
 - ・気持ちや様子を根拠を挙げて話す。
 - ・相手の考えを自分の考えと比べながら聞く。

3 目標

- 戦争という状況の中で、家族と離れ、ひとりぼっちになったちいちゃんの様子と、家族を求め続けるちいちゃんの気持ちを読み取り、作者の平和への思いをとらえることができるようにする。
- 時間の経過と一行空きに注目して場面をとらえ、場面と場面をつないだり比べたりして読む読み方、繰り返しや似た言葉に着目して読む読み方を身に付けることができるようにする。
- 学習プリントにちいちゃんの行動とそのわけを書き、少人数や全体による交流で互いの考えを出し合い、ちいちゃんの気持ちについて話し合うことができるようにする。

4 学習計画（全13時間）

次時	学習活動と内容	教師の支援 (☆焦点化, 可視化, 共有化の視点から *評価規準)
一	1 平和学習を想起し、学習の構えをつくる。 2 単元名とリード文を読み、学習のねらいをとらえ、題名から冒頭を読む視点を生み出す。 3 題名とつないで冒頭を読み、読みのめあてをつくる。	○ 平和学習と関連させ、写真やパネル、挿絵を用いて戦争が起っている頃の時代背景をつかませる。
読み の め あ て	1 題名とぼう頭から読みのめあてをつくらう。	
二 読み の め あ て に 対 す る 初 め の 考 え	13 物語の感想をまとめ、6年生に伝えよう ちいちゃんのかげおくり あまんきみこ 作 (題名) かげおくりってどんな遊びかな。 「の」と書いてあるからちいちゃんがするかげおくり ちいちゃんだけがするかげおくり 「たぬきの糸車」「スーホの白い馬」「きつつきの商売」と比べる (冒頭) 「ひとつつ、ふたあつ、みいつつ」「ようつつ、いつうつ、むうつつ」 「ななあつ、やあつつ、ここのうつ」「とお」 ※ 家族みんなで数える様子から四人でした楽しいかげおくり ちいちゃんとお兄ちゃんは、かげおくりをして遊ぶようになりました。 ばんざいをしたかげおくり。かた手をあげたかげおくり。足を開いたかげおくり。 ※ いろいろなかげをおくっているお兄ちゃんとした楽しいかげおくり。 かげおくりなどできなくなりました。 広い空は、楽しい所ではなく、とてもこわい所にかわりました。 ※ いくさがはげしくなり、ちいちゃんがこれからどうなるのか、かげおくりはできるのか、また、冒頭は、家族四人やお兄ちゃんとの楽しいかげおくりなのに、題名が「ちいちゃんのかげおくり」になっていることから、ちいちゃんはどうなかげおくりをするのかなという疑問から読みのめあてを生み出す。	○ 単元名にかえり、平和学習をしてきた6年生に感想を伝える目的をもたせる。 * 題名読みからつくった疑問をもとに、冒頭を読み、読みのめあてを生み出している。
	4 読みのめあてをつくる。	○ かげおくりを体験させる。

読みのめあてに対する初めの考えをまとめよう。

読みのめあてをもとに全文を読み、場面を分け、語句の意味調べ、新出漢字の練習をする。

- 2 全文を読んで各場面の様子をつかみ、読みのめあて①②に対する初めの考えを書く。
- 3 ちいちゃんのかげおくりを自分がどうとらえたか書きまとめる。

○ 手元に辞書をおかせ、語句の意味をすぐに調べさせる。

○ すらすら音読できるようになるまで繰り返し音読させる。

☆ 1行空きや、時を表す言葉、出来事、ちいちゃんの行動に着目させ構成をつかませる。 (焦点化)

○ 4・5の場面のかげおくりは、1の場面と比べてどんなかげおくりと言えるか一文で書きまとめさせる。

【初めの考え】

夏のはじめのある夜、空襲で家族とはぐれ、ちいちゃんはひとりぼっちになり、ねむった。

朝になって、はす向かいのお婆さんと家にもどったが家は焼けてなくなっていた。ちいちゃんはその夜家族を待った。その夜、ほししいを少し食べて防空壕の中でねむった。次の夜もほししいを少しかじり防空壕の中でねむった。

明るい光で目が覚めたちいちゃんは、ふらふらする足をふみしめて立ち上がり、たった一つのかげぼうしを見つめながらかげおくりをした。

体がすうっとすき通って空にすいこまれていったちいちゃんは、空色の花畑で家族に会ってきらきら笑い出した。夏のはじめのある朝、小さな女の子の命が空に消えた。

何十年後、小さな公園でちいちゃんぐらいの子どもたちが、きらきらわらい声を上げて、遊んでいる。

ちいちゃんにとっては、家族と会えたうれしいかげおくり。
ひとりぼっちで、命をなくしたかなしいかげおくり。

* 根拠となる言葉や文を見つけて、書きまとめている。

三
6
/
13
学
習
計
画

読みのめあてに対する初めの考えをもとに読み深めのめあてをつくろう。

- 1 本時のめあてを確認する。
- 2 読みのめあて①に対する初めの考えを出し合う。
- 3 根拠となった叙述を出し合い、中心文を決める。
- 4 どの場面でどんなことを読み深めたいか話し合う。

【読み深めのめあて】

○ ちいちゃんの行動をもとに中心文を決め、次時からの学習に見通しを持たせる。 (焦点化)

* 自分なりに中心文を見つけようとしている。

- 2の場面…ひとりぼっちになったちいちゃんの気持ちを読み深めよう。
- 3の場面…家族を待ち続けているちいちゃんの気持ちを読み深めよう。
- 4の場面…ひとりぼっちでかげおくりをするちいちゃんの気持ちを読み深めよう。
- 5の場面…家族に会ったちいちゃんの気持ちを読み深めよう。
- 6の場面…あまんきみこさんは6の場面を書いて、何を伝えたかったのか考えよう。

四
読み
深め
①

7
/
13

ひとりぼっちになったちいちゃんの気持ちを読み深めよう。

- 1 本時のめあてを確認する。
(1) 前時の学習を想起し、本時学習のめあてをつかむ。
- 2 ちいちゃんの様子と気持ちを読み深める。
(1) 本時場面を音読する。
(2) 中心文を読み、家族とはぐれてひとりぼっちになったちいちゃんの様子から、ちいちゃんの気持ちを考える
(書く活動①)
(3) 少人数で考えを交流する。
(かっぱタイム)
(4) 全体で交流する。

- 「ひとりぼっち」と「ひとり」を比べて読ませる。
- ☆ お母ちゃんやおにいちゃんとはぐれ、たくさんの人に囲まれていても、ちいちゃんの不安で寂しい気持ちを言動から話し合わせる。 (焦点化)
- 「ダッシュ」について教え、戦火の中を逃げる緊迫した様子を読み取らせる。
- ☆ 考えの共通点や相違点に気を付けながら、根拠を明らかにして、互いの考えが分かるように話し合わせる。 (共有化)
- ☆ 学習プリントに根拠を明らかにして考えを書かせる。 (可視化)

夏のほじめのある夜、くうしゅうけいほうのサイレンで、ちいちゃんたちは目がさめました。

たくさんの人に追いつめられたり、ぶつかったり、ダッシュを読む
※ 押されたり、ころびそうになったりして手がはなれてしまった

「お母ちゃん、お母ちゃん」ちいちゃんはさけびました。⇨「言いました」と比べる
※ お母さんがいないとさわい、不安、心細い、寂しい 似た言葉と比べて読む
お母さんらしい人が見えました。「お母ちゃん」とさけぶと
※ お母ちゃんを見つけた。

でも、その人は、お母さんではありませんでした。
ちいちゃんは、ひとりぼっちになりました。⇨「ひとり」と比べる
※ 家族とはぐれた心細さ 似た言葉と比べて読む

ちいちゃんは、たくさんの人たちの中でねむりました。
※ 家族ではない、知らない人

- 3 本時学習をまとめる。
(1) めあてに対する自分の考えを書きまとめる。
(書く活動②)

* 根拠となる言葉や文を見つけて、書きまとめている。

ちいちゃんへ。ひとりぼっちになって、たくさんの人たちの中でおされたり、ころびそうになったりしてとてもさみしい思いをしたんだね。お母さんとはぐれてしまっ、知らない人の中で寝るなんて、とてもこわくて、心細かっただろうね。

- (2) 本時で使った「読みのたから」をまとめる。
「ダッシュを読む」
「似た言葉と比べて読む」

* 場面の様子やちいちゃんの不安・心細さを読み取り、読み深めたことを書きまとめている。

ひとりぼっちで家族を待ち続けるちいちゃんの気持ちを読み深めよう。

読み深め②

8 / 13 (2) 組本時

- 1 本時のめあてを確認する。
(1) 前時の学習を想起し、本時学習のめあてをつかむ。
- 2 家族を待ち続けている様子からちいちゃんの気持ちを読み深める。
(1) 本時場面を音読する。
(2) 中心文を読み、ちいちゃんの気持ちについて話し合う。
(3) ちいちゃんの帰ってくると信じている気持ちが分かる文などを、中心文につないで自分の考えを書く。
(書く活動①)
(4) 少人数で考えを交流する。
(かっぱタイム)
(5) 全体で交流する。

- ☆ 中心文のどの言葉から思ったのか問い返し「きっと」と「よ」に着目して読ませることで、ちいちゃんの不安な気持ちについて考えさせる。(焦点化)
- 「深くうなずきました」の繰り返しに着目させる。
- ☆ 考えの共通点や相違点に気を付けながら、根拠を明らかにして、互いの考えが分かるように話し合わせる。(共有化)
- ☆ 学習プリントに根拠を明らかにして考えを書かせる。(可視化)

朝になりました。 はす向かいのうちのおばさんが立っています。

ちいちゃんは、深くうなずきました。 くりかえしを読む
 ※ ぜったいに帰ってくると思っている

ちいちゃんは、また深くうなずきました。

その夜
 ほしいいを、少し食べました。

文末を読む
 「お母ちゃんとお兄ちゃんは、きっと帰ってくるよ」 はずして読む
 ※ 不安な気持ちを打ち消すために自分に言い聞かせている

くもった朝がきて、昼がすぎ、また、暗い夜が来ました。

また少しかじりました。 ※ 体が弱りながらも会えると信じている

- 3 本時学習をまとめる。
(1) めあてに対する自分の考えを書きまとめる。
(書く活動②)

* 場面の様子や家族と会えることを強く信じているちいちゃんの気持ちを読み取り、読み深めたことを書きまとめている。

ちいちゃんへ。家に帰ればお母ちゃんやお兄ちゃんに会えると思っていたのに、家がやけ落ちていたから、とても不安な気持ちになったんだね。長い間ひとりぼっちで体が弱りながらも、必ず帰ってくると信じて、自分に言い聞かせていたんだね。

- (2) 本時で使った「読みのたから」をまとめる。
「くりかえしを読む」
「文末を読む」
「はずして読む」

読み深め③

9 / 13 (3) 組本

- 1 本時のめあてを確認する。
(1) 前時の学習を想起し、本時学習のめあてをつかむ。

ひとりぼっちでかけおくりをするちいちゃんの気持ちを読み深めよう。

- 「ふらふらする」「ふみしめて」に着目して、体が弱っているちいちゃんの様子を読み取らせる。
- ☆ 家族を強く求めるちいちゃんの気持ち

時

- 2 ちいちゃんが、ひとりぼっちでかけおくりをする気持ちを読み深める。
- (1) 本時場面を音読する。
 - (2) 中心文から、ちいちゃんの様子について話し合う。
 - (3) 家族を求めるちいちゃんの強い気持ちに気づき、なぜそれほど家族に会いたいのか自分の考えを書く。
(書く活動①)
 - (4) 少人数で考えを交流する。
(かっぱタイム)
 - (5) 全体で交流する。
・ 4の場面のかげおくりは、どんなかけおくりか話し合う。

ちを、中心文とつないで考えさせる。
(焦点化)

☆ 考えの共通点や相違点に気を付けながら、根拠を明らかにして、互いの考えが分かるように話し合わせる。
(共有化)

☆ 学習プリントに根拠を明らかにして考えを書かせる。
(可視化)

また少しかじりました

暑いような寒いような気がしました

ひどくのどがかわいています ※ 熱がある。体が弱っている。

※ 力をふりしぼる。体力の限界。

ちいちゃんは、ふらふらする足をふみしめて立ち上がると、
たった一つのかげぼうしを見つめながら、 教えだしました。

～重なって聞こえだしました 文末を読む

※ 家族に会いたい一心で、 かけおくりをしている。

※ 家族一緒の思い出を思い出した
さみしい思いがいっぱい
何日間もひとりだった

記念写真

ひとりぼっち なくのをこらえて

場面と場面をつないで読む

家族に会いたい一心で、たった一人で命をなくしたかなしいかけおくり

3 本時学習をまとめる。

- (1) めあてに対する自分の考えを書きまとめる。
(書く活動②)

* 家族に会いたい一心でかけおくりをするちいちゃんの気持ちを読み取り、読み深めたことを書きまとめている。

ちいちゃんへ。体が弱ってとても苦しかったのに、それでも最後の力をふりしぼって、たった一人でかけおくりをしたんだね。ずっとさみしい思いをしてきて、家族に会いたくてたまらなかったんだね。ひとりぼっちで、命まで送った悲しいかけおくりだったね。

- (2) 本時で使った「読みのたから」をまとめる。

「場面と場面をつないで読む」

「文末を読む」

読み深め④

10 / 13

家族に会うことができたちいちゃんの気持ちを読み深めよう。

- 1 本時のめあてを確認する。
(1) 前時の学習を想起し、本時学習のめあてをつかむ。
- 2 家族に会ったちいちゃんの様子と気持ちを読み深める。
(1) 本時場面を音読する。

○ 中心文から、本時のめあてをつかませる。

☆ 学習プリントに根拠を明らかにして考えを書かせる。
(可視化)

☆ 考えの共通点や相違点に気を付けな

(2) 家族に会えたちいちゃんの気持ちを考え、自分の考えを書く。

(書く活動①)

・「きらきら」とわらい声を上げたちいちゃんの気持ち。

(3) 少人数で考えを交流する。

(かっぱタイム)

(4) 全体で交流する。

(5) 「ちいちゃん」ではなく、「小さな女の子」と書いた作者の思いを考える。

・「ちいちゃんのかげおくり」とは、どんなかげおくりだったか考える。

がら、根拠を明らかにして、互いの考えが分かるように話し合わせる。

(共有化)

☆ 中心文とつないで、ちいちゃんの気持ちを読み深めさせる。(焦点化)

○ 「小さな女の子」と「ちいちゃん」を比べさせることでたくさん子どもたちが死んでしまったことを想像させる。

体がすうとすきとおって、空にすいこまれていくのが分かりました。

場面と場面をつないで読む

ちいちゃんは、きらきらわらいだしました。

※ 家族に会えたうれしさ

※ 家族や大事な人を思う気持ち

ちいちゃん←→小さな女の子の命が、空にきえました。

※ 他にも、多くの子どもたちが死んでしまった

ひとりぼっちだったちいちゃんが、やっと家族と会えたうれしいかげおくり。最後の力をふりしぼって、命を送ったかなしいかげおくり。

3 本時学習をまとめる。

(1) めあてに対する自分の考えを書きまとめる。(書く活動②)

ちいちゃんへ。かげおくりをして、空の家族に会えて嬉しかったらうね。だけど、ちいちゃんの他にもたくさん子どもたちの命が消えた悲しいかげおくりだね。

(2) 本時で使った「読みのたから」をまとめる。

「場面と場面をつないで読む」

* 根拠となる言葉や文を見つけて、書きまとめている。

読み深め⑤

11 / 13 (1 組本時)

あまんきみこさんは、6の場面を書くことで、何を伝えたかったのか考えよう。

1 本時のめあてを確認する。

(1) 前時の学習を想起し、本時学習のめあてをつかむ。

2 あまんきみこさんが伝えたかったことを考える。

(1) 本時場面を音読する。

(2) 中心文を読み、場面の様子(いつだれのどんな様子)を確認する。

(3) 二つの「きらきら」の相違点から、作者がなぜ6の場面を書いたのか自分の考えを書く。(書く活動①)

(4) 少人数で考えを交流する。

(かっぱタイム)

(5) 全体で交流する。

☆ 5の場面と6の場面の「きらきら」の共通点と相違点に気付かせる

(焦点化)

☆ 学習プリントに根拠を明らかにして、考えを書かせる。(可視化)

☆ 考えの共通点や相違点に気を付けながら、根拠を明らかにして、互いの考えが分かるように話し合わせる。

(共有化)

(5の場面) **はずして読む**
 ちいちゃんは、きらきらわらいました。
 ※ 家族に会えてうれしい
 ※ 死んだのでかなしい



場面と場面を比べて読む

(6の場面)
 青い空の下、今日も、お兄ちゃんやちいちゃんぐらいの
 子どもたちが、きらきらわらい声を上げて、遊んでいます。
 ※ 遊んで楽しい ※ 自由に遊べる
 ※ いつでも家ぞくがいる

命をなくすことがない (安心)
 自由に遊べる (うれしい)
 いつも家族といっしょにいる (幸せ)

作者の思い

- 3 本時学習をまとめる。
 (1) めあてに対する自分の考えを書きま
 とめる。 (書く活動②)

あまんきみこさんは、戦争が家族や生活など全てのものをうばう悲しいものであること、
 私たちが当たり前のように遊んだり、生活したりしていることの喜びを伝えたいと思う。

- (2) 本時で使った「読みのたから」をま
 とめる。
 「はずして読む」
 「場面と場面をくらべて読む」

* 6の場面を書いた作者の思いを書き
 まとめている。

五
 読
 みの
 ま
 と
 め

12
 ・
 13
 /
 13

読み深めてきたことをもとに、心に残
 った場面から感想を書きまとめ、6年生
 に聞いてもらおう。

- 1 読みのめあてに対する答えを書きま
 とめ、本単元で使った読み方をまとめる。
 「ダッシュを読む」
 「似た言葉と比べて読む」
 「くりかえしを読む」
 「文末を読む」
 「はずして読む」
 「場面と場面を比べて読む」
 「場面と場面をつないで読む」
- 2 ちいちゃんのかげおくりを読んで心
 に残った場面を中心に自分の感想を書きま
 とめ、6年生に伝える。

○ これまでの学習を振り返り、中心に
 する場面を決めさせる。

* 物語を振り返りながら、心に残った
 ところを感想文に書いている。

9 本時の展開

学習活動と内容	教師の支援 (☆焦点化, 可視化, 共有化の視点から*評価規準)
<p>1 本時のめあてを確認する。</p> <p>(1) 前時までの学習を想起し、本時学習のめあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>あまんきみこさんは、6の場面を書くことで何を伝えたかったのか考えよう。</p> </div> <p>2 あまんきみこさんが伝えたかったことを考える。</p> <p>(1) 本時場面を音読する。</p> <p>(2) 中心文を読み、場面の様子(いつ・だれのどんな様子)を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6の場面の「きらきら」と5の場面の「きらきら」の共通点や相違点について話し合う。 <p>(3) 二つの「きらきら」の相違点から、作者が、なぜ6の場面を書いたのか自分の考えを書く。(書く活動①)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今は戦争がなく、自由に遊ぶことができるということ ・ちいちゃんのように家族と離れ離れになることはない。(安心) <p>(4) 少人数で考えを交流する。(かっぱタイム)</p> <p>(5) 全体で交流する。</p> <p>3 本時学習をまとめる。</p> <p>(1) めあてに対する自分の考えを書きまとめる。(書く活動②)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作者が、6の場面を書いて何を伝えたかったのか。 ・ちいちゃんは、戦争によってかげおくりさえできなかつたけれど、今は、どこにでも公園はあるし、楽しく遊ぶことができる。 ・ちいちゃんは、家族と離ればなれになつてしまつたけれど、今は、いつも家族がそばにいてくれる。 	<p>○ 教室に学習の足跡を掲示しておき、前時学習を想起し、本時学習の見通しを持たせる。</p> <p>○ 学習計画をもとに本時のめあてを確認するとともに、本時学習で自分のはっきりしていきたいことを確認し、話し合いに意欲をもつことができるようにする。</p> <p>☆ 5の場面と6の場面の「きらきら」の相違点に気付かせる。(焦点化)</p> <p>☆ 根拠を明らかにし、自分の考えを整理することができる学習プリントを用意する。(可視化)</p> <p>☆ 考えの共通点や相違点に気をつけながら、根拠を明らかにして、話し合い、お互いの考えが分かるようにする。(共有化)</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>あまんきみこさんは、戦争が家族や生活など全てのものをうばう悲しいものであること、私たちが当たり前のように遊んだり、生活したりしていることの喜びを伝えたいと思う。</p> </div>	
<p>(2) 本時で使った「読みのたから」をまとめる。</p> <p>「はずして読む」</p> <p>「場面と場面を比べて読む」</p>	<p>* 6の場面を書いた作者の思いを書きまとめている。</p>

5 本時 (8 / 13)

公開授業① 読み深め②

6 本時の目標

- 家族が帰ってくることを信じて待ち続けたちいちゃんの様子と家族に会いたくてたまらないちいちゃんの気持ちを、繰り返しのことばや類縁語に着目しながら読み深めることができるようにする。
- お母ちゃんとお兄ちゃんはきっと帰ってくると信じているわけを、友だちの意見と自分の意見の共通点や相違点に気を付けながら話し合うことで読み深めることができるようにする。

7 本時指導の考え方

前時まで子どもたちは、空襲で家族とはぐれてしまい、ひとりぼっちでさびしくて心細く、家族に会いたいと思っているちいちゃんの気持ちを読み深めてきている。

本時は、読み深めの2時間目であり、家に帰れば家族に会えると信じて帰ったが、家は焼け落ちてなくなり、家族もいなくて落ち込み、不安な気持ちになりながらも、家族が帰ってくることを強く信じて待つ、ちいちゃんの様子と気持ちを読み深める場面である。

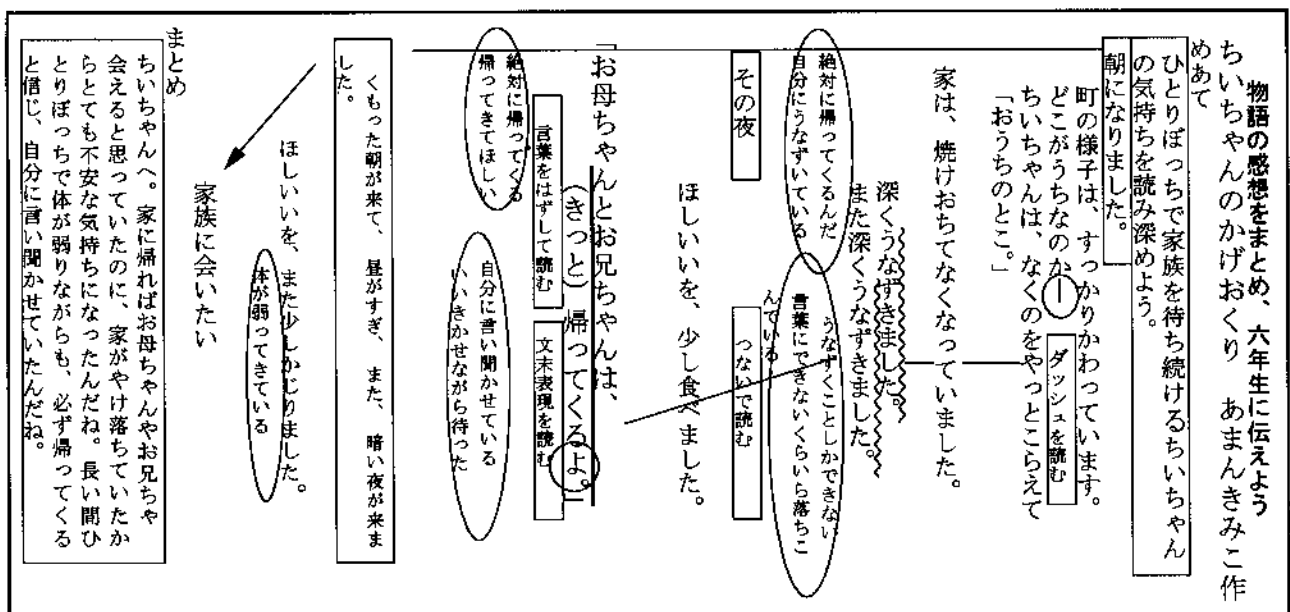
そこで、本時指導にあたっては、まず、前時のちいちゃんの気持ちを想起させ、本時のめあてを確認して、場面音読させる。

次に、ちいちゃんがなぜ「お母ちゃんとお兄ちゃんはきっと帰ってくるよ。」と言ったのか尋ね、「お母さんが、帰ってくると信じているから。」「会いたいから。」などの気持ちを出させる。そして、どの言葉からそう思ったのかを問い返し「きっと」や「よ」に着目させて、必ず帰ってくると信じているちいちゃんの気持ちをとらえることができるようにする。(焦点化)さらに、ちいちゃんの気持ちが分かる「なくのをやっところえて」や、二度も深くうなずいたことが書かれている文などから想像したことを、中心文とつないで書かせる。(書く活動①)

少人数による話し合い(かっぱタイム)では、考えを交流させる。その際、根拠を明らかにして、考えを整理しやすい学習プリントを準備する。(可視化)その後全体で、「～の文から、ちいちゃんの～な気持ちがわかりました。」の言い方で、グループで出た考えも含めて交流させる。そして、不安やさびしさでいっぱいになり食べ物もない中で、家族が帰ってくることを強く信じて二日間も待ち続けるちいちゃんのおかれている状況とその中での極限の気持ちを読み深めさせる。(共有化)

最後に、ちいちゃんの不安な気持ちと、絶対に会えると信じて待ち続けている気持ちについて、ちいちゃんへという書き出しを与えて書きまとめさせる。(書く活動②)

8 板書計画



9 本時の展開

学習活動と内容	教師の支援 (☆焦点化, 可視化, 共有化の視点から, *評価規準)
<p>1 本時のめあてを確認する。 (1) 前時の学習を想起し, 本時学習のめあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">ひとりぼっちで家族を待ち続けるちいちゃんの気持ちを読み深めよう。</div> <p>2 ひとりぼっちで家族を待ち続ける様子からちいちゃんの気持ちを読み深める。 (1) 本時場面を音読する。 (2) 中心文を読み, ちいちゃんの気持ちについて話し合う。 (3) ちいちゃんの帰ってくると信じている気持ちが分かる文や前の場面から想像したことを, 中心文につないで自分の考えを書く。 (書く活動①) (4) 少人数で考えを交流する。 (かっぱタイム) ・「なくのをやっところえて」から, 今にも泣き出しそうなくらい家族に会いたい ・「家がやけ落ちて・・・」から家に帰ったら会えると思っていたのに不安でたまらない。 ・「深くうなずきました。」から「深く」だから強く会えると信じている。 (5) 全体で交流する。</p> <p>3 本時学習をまとめる。 (1) めあてに対する自分の考えを書きまとめる。 (書く活動②)</p>	<p>○ 前時までに読み深めてきたことを, 掲示物を使って想起させ, 学習計画をもとに本時の場面を確認させる。</p> <p>○ ちいちゃんの様子や気持ちを考えながら音読させる。</p> <p>○ ちいちゃんは, なぜ「きっと帰ってくるよ。」と言ったのか尋ね, 「お母さんが, 帰ってくると信じているから。」「会いたいから。」などの気持ちを出させる。</p> <p>☆ どの言葉から思ったのか問い返し, 「きっと」「よ」に着目して読ませることで, ちいちゃんの不安な気持ちについて考えさせる。 (焦点化)</p> <p>☆ 学習プリントに根拠を明らかにして考えを書かせる。 (可視化)</p> <p>○ 机間指導をしながら子どもの考えを把握し, 話し合いに生かすようにする。</p> <p>☆ 考えの共通点や相違点に気を付けながら, 根拠を明らかにして, 互いの考えが分かるように話し合わせる。 (共有化)</p> <p>○ 本時に読み深めたことを振り返らせ, 「ちいちゃんへ」という書き出しを与えて書きまとめさせる。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">ちいちゃんへ。家に帰ればお母ちゃんやお兄ちゃんに会えると思っていたのに, 家がやけ落ちていたからとても不安な気持ちになったんだね。長い間ひとりぼっちで体が弱りながらも, 誰もいないから, 必ず帰ってくると信じ, 自分に言い聞かせていたんだね。</div> <p>(2) 本時で使った「読みのたから」をまとめる。 「くりかえしを読む」 「文末を読む」 「はずして読む」</p>	<p>* 板書をもとに, 本時の学習で読み深めたちいちゃんの様子と気持ちを書きまとめている</p>

5 本時 (9/13)

公開授業① 読み深め③

6 本時の目標

- 命つきようとしながらも、最後の力をふりしぼって、ひとりぼっちでかけおくりをしたちいちゃんの家族を求める強い気持ちを場面と場面をつないで、読み深めることができるようにする。
- 根拠となった叙述を明らかにして、友達の意見と自分の意見の共通点や相違点に気をつけながら話し合うことで、ちいちゃんの家族を求める強い気持ちを読み深めることができるようにする。

7 本時指導の考え方

前時までに子どもたちは、空襲で家族とはぐれてひとりぼっちになってしまったちいちゃんの心細さや、さみしさ、家族に会いたい気持ちを読み深めてきた。

本時は、衰弱して命つきようとしているちいちゃんが、最後の力をふりしぼって、ひとりぼっちのかけおくりをする気持ちを読み深めていく場面である。

そこで、本時指導にあたっては、まず、前時でのちいちゃんの気持ちを想起させた後、本時のめあてをつかませ、場面音読させる。

次に、中心文「ちいちゃんは、～数えだしました。」の「ふらふらする」と「ふみしめて」から、体が弱っているにもかかわらず、最後の力をふりしぼってかけおくりをするちいちゃんの様子を読み深めさせる。その後、「重なって聞こえだしました」の文末を読み、本当に家族の声が聞こえたのではないことを押さえ、家族を求める強い気持ちに気付かせる。

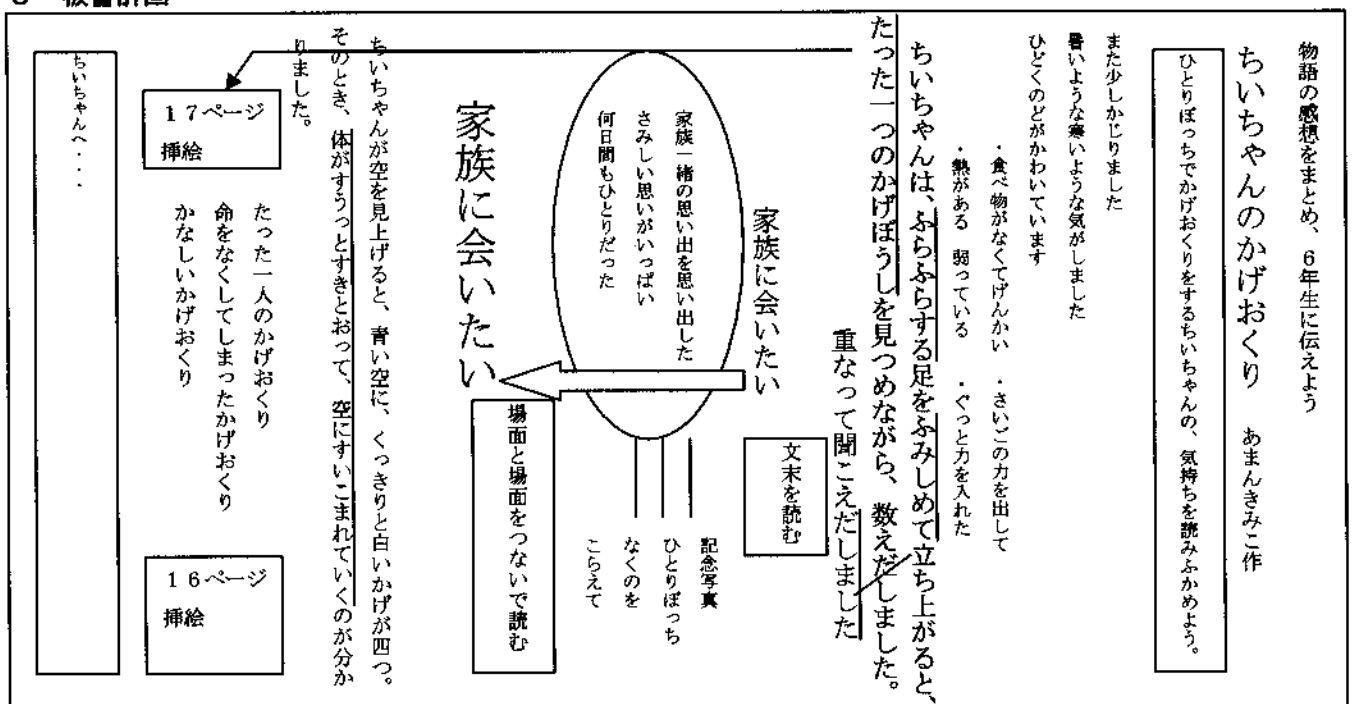
そして、それほどまでにちいちゃんが家族に会いたいのはなぜか分かる言葉や文を、前の場面から探させる。(焦点化) それを中心文とつないで、自分の考えを書く。(書く活動①) 学習プリントには、根拠を明らかにして考えを書かせるようにする。(可視化)

そして、学習プリントを見せ合いながら、友達の考えとの共通点や相違点に気を付けて、少人数で話し合う。(かっぱタイム)

さらに、少人数で出た考えをもとに全体で交流し、家族を求めるちいちゃんの気持ちの高まりを読み深めさせていく。(共有化) その際、4の場面のかけおくりはちいちゃんが家族に会いたい一心でしたかけおくりであるとともに、たった一人で命をなくしたかけおくりだったことに気付かせる。

最後に、ちいちゃんがひとりぼっちでかけおくりをする様子と気持ちについて読み深めたことを、ちいちゃんへという書き出しを与えて書きまとめさせる。(書く活動②)

8 板書計画



9 本時の展開

学習活動と内容	教師の支援 (☆焦点化, 可視化, 共有化の視点から *評価規準)
<p>1 本時のめあてを確認する。 (1) 前時までを想起させ、本時のめあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ひとりぼっちでかげおくりをするちいちゃんの気持ちを読み深めよう。</p> </div> <p>2 ちいちゃんが、ひとりぼっちでかげおくりをする気持ちを読み深める。 (1) 本時場面を音読する。</p> <p>(2) 中心文「ちいちゃんは～数えだしました。」から、ちいちゃんの様子について話し合う。</p> <p>(3) 家族を求めるちいちゃんの強い気持ちに気づき、なぜそれほど家族に会いたいのか自分の考えを書く。 (書く活動①)</p> <p>(4) 少人数で考えを交流する。(かっぱタイム)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 私は、家族と一緒にしたかげおくりが楽しかったから家族に会いたかったのだと思います。そのわけは、一の場面に、記念写真と書いてあるところから、かげおくりが家族一緒の楽しい思い出ということが分かるからです。 ・ 私は、〇〇さんと同じ所から考えを書きました・・・ <p>(5) 全体で交流する。 ・ 4の場面のかげおくりは、どんなかげおくりか話し合う。</p> <p>3 本時学習をまとめる。 (1) めあてに対する自分の考えを書きまとめる。 (書く活動②)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ちいちゃんへ。体が弱ってとても苦しかったのに、それでも最後の力をふりしぼって、たった一人でかげおくりをしたんだね。ずっとさみしい思いをしてきて、家族に会いたくてたまらなかったんだね。ひとりぼっちで、命まで送った悲しいかげおくりだったね。</p> </div>	<p>○ 流れ図を使って、これまでの学習を想起させる。</p> <p>○ ちいちゃんの気持ちを考えながら音読させる。</p> <p>○ 「ふらふらする」と前の文や前の場面をつないで、体が弱っている様子を読み深めさせる。</p> <p>○ 「ふみしめて」から、最後の力をふりしぼっている様子を読み深めさせる。</p> <p>○ 「重なって聞こえだしました」の文末から、家族を強く求めるちいちゃんの気持ちに気付かせる。</p> <p>☆ 家族を強く求めるちいちゃんの気持ちを、中心文とつないで考えさせる。 (焦点化)</p> <p>○ ちいちゃんの家族に会いたい気持ちの強さを、これまでの場面とつないで考えさせる。</p> <p>☆ 学習プリントに根拠を明らかにして考えを書かせる。 (可視化)</p> <p>☆ 考えの共通点や相違点に気を付けながら、根拠を明らかにして話し合い、互いの考えが分かるように話し合わせる。 (共有化)</p> <p>○ 「たった一つのかげぼうし」とつないで、ちいちゃんが命を失ってしまったかなしいかげおくりであるということを話し合わせる。</p> <p>○ 本時で読み深めたことを振り返らせ、「ちいちゃんへ」という書き出しを与えて書きまとめさせる。</p>
<p>(2) 本時で使った「読みのたから」をまとめる。 「場面と場面をつないで読む」 「文末を読む」</p>	<p>* 板書をもとに、家族に会いたい一心でかげおくりをするちいちゃんの気持ちを読み取り、読み深めたことを書きまとめている。</p>